

平成26年度(第69回)文化庁芸術祭賞受賞一覧(参加公演)

演劇部門6件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	(関東参加公演の部) 公益財団法人せたがや文化財団	炎 アンサンディの成果
	(関西参加公演の部) 該当なし	—
優秀賞	(関東参加公演の部) メントC	メントC第九回公演「ダム」の成果
	(関西参加公演の部) 伊丹市立演劇ホール	劇団太陽族「それからの遠い国」の成果
	(関西参加公演の部) みやなおこ	玉造小劇店 配給芝居vol.15「おもてなし」における演技
新人賞	(関東参加公演の部) 和田 正人	Dステ15th「駆けぬける風のように」における演技
	(関西参加公演の部) 笠井 友仁	アラビアの夜の演出

音楽部門6件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	(関東参加公演の部) 清元美寿太夫・清元美治郎「二人会」	第二回 清元美寿太夫・清元美治郎「二人会」の成果
	(関西参加公演の部) 学校法人大阪音楽大学	20世紀オペラ・シリーズ「鬼娘恋首引」「Curlew River」の成果
優秀賞	(関東参加公演の部) 近藤 伸子	近藤伸子ピアノリサイタル-20世紀のピアノ曲Ⅶ-シュトゥックハウゼン”自然の持続時間”の成果
	(関西参加公演の部) 新内 志賀	新内志賀の会 語りの系譜Ⅲの成果
新人賞	(関東参加公演の部) 田嶋 謙一	田嶋謙一尺八リサイタルの成果
	(関西参加公演の部) 石堂 翠子	第七回 石堂翠子地歌の会の成果

舞踊部門5件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	(関東参加公演の部) 横浜能楽堂	横浜能楽堂企画公演「琉球舞踊 古典女七踊」の成果
	(関西参加公演の部) 地主薫バレエ団	地主薫舞踊生活50周年記念公演「アリ・ババと40人の盗賊」の成果
優秀賞	(関東参加公演の部) 中村 梅彌	中村梅彌の會の成果
	(関西参加公演の部) 該当なし	—
新人賞	(関東参加公演の部) 久保 絢一	「ドラキュラ」公演における芸術監督としての成果
	(関西参加公演の部) 川崎 麻衣	貞松・浜田バレエ団 特別公演「眠れる森の美女」におけるフロリナ王女の演技

大衆芸能部門5件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象
大賞	(関東参加公演の部) 三遊亭 遊馬	芸歴20周年特別記念☆三遊亭遊馬独演会の成果
	(関西参加公演の部) キダ・タロー	音の語り部 キダ・タロー博覧の成果
優秀賞	(関東参加公演の部) 有限会社スタス	SKD・OGスタスレビューファンタジー2014の成果
	(関西参加公演の部) 林家 花丸	林家花丸独演会 ～人と人、情と情の成果
新人賞	(関東参加公演の部) 蜷気楼 龍玉	大師匠噺における「お直し」の話芸
	(関西参加公演の部) 該当なし	—

平成26年度(第69回)文化庁芸術祭賞受賞一覧(参加作品)

テレビ・ドラマ部門4件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象
大 賞	株式会社テレビ朝日	テレビ朝日開局55周年記念 山田太一ドラマスペシャル「時は立ちどまらない」
優秀賞	中京テレビ放送株式会社	マザーズ
	日本放送協会	土曜ドラマ「足尾から来た女」(前・後編)
	株式会社BS-TBS	「おやじの背中」 一ウエディング・マッチー

テレビ・ドキュメンタリー部門4件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象
大 賞	日本放送協会	君が僕の息子について教えてくれたこと
優秀賞	長崎放送株式会社	人間神様
	日本放送協会	BS1スペシャル 女たちのシベリア抑留 前・後編
	株式会社WOWOW	ノンフィクションW 愚安亭遊佐 ひとり芝居を生きる

ラジオ部門4件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象
大 賞	(ドラマの部) 株式会社エフエム福岡	ラジオドラマ「鉄の河童」
優秀賞	(ドラマの部) 株式会社山梨放送	山梨放送開局60周年記念ラジオドラマ「婚活バスは、ふるさとへ」
	(ドキュメンタリーの部) 東海ラジオ放送株式会社	大須演芸場盛衰記～笑ってさよなら
	(ドキュメンタリーの部) 日本放送協会	「語り出す被爆遺品～69年目に明らかになる真実～」

レコード部門4件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象
大 賞	公益財団法人日本伝統文化振興財団	尺八の神髄-明暗対山派全集-
優秀賞	有限会社日本アコースティックレコーズ	野村峰山尺八独奏会 ～流祖中尾都山作品より～
	有限会社日本アコースティックレコーズ	無伴奏ヴァイオリン・デュオ 漆原啓子 & 漆原朝子
	日本コロムビア株式会社	所傳 三谷清攬 ～三橋貴風 明暗/根笹/琴古 尺八古典本曲の世界～

平成26年度(第69回)文化庁芸術祭賞受賞一覧

演劇部門6件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大賞	(関東参加公演の部) 公益財団法人せたがや文化財団	炎 アンサンディの成果	スケール大きく現実の国際問題に斬り込んだ作品で秀逸である。過去と現在が行き来し、場所も中東とカナダが交錯する。中東出身でカナダに逃げた母(麻実れい)の遺言で、双子の姉弟は中東に渡り、母の軌跡を追う。内戦の過酷さがしっかり台詞劇として伝わり、作ワジディ・ムワウド、演出の上村聡史と役者陣を大いに評価する。
	(関西参加公演の部) 該当なし	—	—
優秀賞	(関東参加公演の部) メントC ^{しー}	メントC ^{しー} 第九回公演「ダム」の成果	嶽本あゆ美作、藤井ごう演出による初の舞台上演。力強いドラマ性を感じられ、狭い劇場空間の背後に村の大自然やダムが存在が想像できる印象深い魅力的な上演であり、説得力のある九州弁で森清美を演じきった西山水木はじめ出演者全員の作品への深い思いと努力が結実していた。現代日本の社会的側面と一人の女性のドラマが絶妙に重なり合う舞台表現を評価した。
	(関西参加公演の部) 伊丹市立演劇ホール	劇団太陽族 ^{けきだんたいようぞく} 「それからの遠い国」の成果	カルト教団を脱退して大阪の実家に戻った青年の二十年後を描く舞台。今なお不安と焦燥に満ちた日常を送る主人公と、妹の若い劇団仲間との会話が、現代の若者意識を照射する。時に古典演劇のせりふを引用しつつ、「地域で演劇を作り続けること」の意味に真摯に迫った内容と演技は、公共劇場での上演作としての意義と力強さを感じさせた。
	(関西参加公演の部) みやなおこ	玉造小劇店 ^{たまつくりしょうげきてん} 配給芝居vol.15「おもてなし」における演技	関東大震災後、大阪・船場の ^{おおたな} 愛人宅を舞台に、大阪商人の質素・儉約の美学である「始末の精神」を盛り込んだ人情喜劇。主人亡き後、周りの人間のよろず相談事を引き受けつつ知恵と才覚で生き抜く愛人・兼を演じた「みやなおこ」が、自身の魅力を存分に発揮。関西出身だけに独特の台詞も違和感なく、物腰の柔らかさ、艶っぽさと同時にしたたかさ、そして女の怖さをも鮮やかに演じて見せ、高い評価につながった。
新人賞	(関東参加公演の部) 和田 ^{わだ} 正人 ^{まさひと}	Dステ15th「駆けぬける風のように」における演技	「駆け抜ける風のように」で、変動期の幕末、沖田総司を助けようとして、敵に背中を切られてしまう、足の速い新選組の一員立川迅助 ^{ふんすけ} に扮した。人を思いやる心の優しさゆえに不覚を取り、自身の立場を危うくしてしまう迅助を、率直で、爽やかな個性を生かして演じ、舞台上を縦横無尽に走って、熱気のある人物像を作り上げた。
	(関西参加公演の部) 笠井 ^{かさい} 友仁 ^{ともり}	アラビアの夜の演出	登場人物をそれぞれが夢想も交えて独白風の語りによって描いていく本戯曲の特徴をうまくつかみ、スタイリッシュな演出により巧みに伝えた。兵庫県伊丹市の公演では標準語の脚本と関西弁の脚本を休憩を挟んで連続上演する趣向で、同じ戯曲でも用いる言葉が違うと舞台と観客の距離感が全く違ったものになることを示した。自身で手掛けた舞台美術や振付もアイデアに富み、戯曲を引き立てた。

平成26年度(第69回)文化庁芸術祭賞受賞一覧

音楽部門6件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大賞	(関東参加公演の部) 清元美寿太夫・清元美治郎 「二人会」	第二回 清元美寿太夫・清元美治郎「二人会」の成果	清元美寿太夫と美治郎が、舞踊の伴奏音楽としても重要な清元節を、純粋に音楽として、その本質に迫るために、明治以降に、その音楽面を重視して作曲された「月」と「隅田川」を取り上げた。曲の趣旨を的確に把握し、格調高く奥深い表現により清元節の豊かな音楽性を十分に示し、大きな成果をあげた。
	(関西参加公演の部) 学校法人大阪音楽大学	20世紀オペラ・シリーズ「鬼娘恋首引」 「Curlew River」の成果	鈴木英明《鬼娘恋首引》とブリテン《Curlew River》という狂言と能を題材にした喜劇と悲劇の上演は、両者の見事なバランスと極めて上質な演奏で、聴衆に深い感銘を与えた。田中勉、西垣俊朗、老田裕子らの歌唱、山下一史の指揮、井原広樹の演出、何よりもザ・カレッジ・オペラハウス全体がよく練れた緊密なアンサンブルの賜物である。
優秀賞	(関東参加公演の部) 近藤 伸子	近藤伸子ピアノリサイタル-20世紀のピアノ曲Ⅶ-シュトックハウゼン”自然の持続時間”の成果	20世紀を拓いた作曲家の一人、シュトックハウゼン最後のピアノ作品《自然の持続時間》全24曲を手堅い技巧と強い集中力をもって披露した。生成と消滅、構築と破壊を繰り返す音の組織が、いかに時空間を創出・支配し、立ち会う者を巻き込むのかを実体験させてくれた。奏者自筆の解説と譜例も多年の研究を反映した有意義なもので、本演奏会は学究と実演の両面から芸術の深奥に迫り、この作曲家の再評価を問いかけた。
	(関西参加公演の部) 新内 志賀	新内志賀の会 語りの系譜Ⅲの成果	本演奏会は、シリーズ「語りの系譜」第三弾(集大成)として力のこもった企画だった。〈一谷嫩軍記〉は原作義太夫の豪快さと新内独特の味をよく出して観客を引きつける演奏。〈月の姫〉は笛や太鼓を効果的に加えた意欲的創作曲。〈蘭蝶〉は最後まで集中力が途切れない質の高い演奏で新内の粋と情念をたっぷり聴かせた。
新人賞	(関東参加公演の部) 田嶋 謙一	田嶋謙一尺八リサイタルの成果	現代的センスと技法を要する「詩曲一番」から、尺八本曲の深遠な世界を投影した海童道道曲「虚空・鶴の巣籠」を長短二管で吹き分け、最後は古典の大曲「八重衣」の三曲合奏というバランスの良い構成に、適切な助演者を得て、多彩で柔軟な演奏力を発揮した。そのフレッシュな感性に溢れた演奏は、将来への期待を抱かせるに十分だった。
	(関西参加公演の部) 石堂 翠子	第七回 石堂翠子地歌の会の成果	石堂が一筋に追求する地歌三弦のみのプログラム。「桜川」は三弦本手、替手、「筆の跡」は独奏、「新青柳」は三曲合奏という編成で、全曲を通じて、地歌に対する真摯な姿勢が、よく練られた歌と手に表れていた。また、それぞれ、的確に曲想を捉えた演出は、古典芸能本来の境地を大切に思う様子が見て取れ、更なる発展の可能性に大きな期待を抱かせた。

平成26年度(第69回)文化庁芸術祭賞受賞一覧

舞踊部門5件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大 賞	(関東参加公演の部) 横浜能楽堂	横浜能楽堂企画公演「琉球舞踊 古典女七踊」の成果	今日の琉球舞踊界を代表する名手七人が各人各様の古典女七踊の品格ある優美さを余すところなく発揮し、傑出した舞台成果をもたらした。一点一画もゆるがせにしない七人の高度な技術は戦前の名人たちからの型の堅固な継承を確信させつつ、ことに旧来の女形と戦後に台頭した新たな境地を開拓した女性舞踊家たちの芸を一堂に会した企画によって“伝統の再創造”という観点からも上演の意義は極めて大きい。
	(関西参加公演の部) 地主薫バレエ団	地主薫舞踊生活50周年記念公演「アリ・パパと40人の盗賊」の成果	千夜一夜物語の一遍を題材に、老若男女様々な人が楽しめる全幕バレエをオリジナリティを持って創り上げた。ダンサーを活かした振付はもちろん、P.チャイコフスキー、G.ホルスト、A.ハチャトリヤンの曲を効果的に組み合わせ構成し、舞台美術にも目を配った地主薫の演出の手腕がすばらしい。主役の奥村康祐、奥村唯の踊りのレベルの高さに加え、盗賊の頭・青木崇率いる40人の盗賊の男性群舞も圧巻だった。
優秀賞	(関東参加公演の部) 中村 梅彌	中村梅彌の會の成果	義太夫と清元という趣の異なる二作品に、伝承と共に梅彌ならではの彩りを添え、優れた公演成果を上げた。義太夫『萬歳』は女萬歳の形にし、折り目正しい澄んだ所作が初春の清新な印象を与えた。清元『豊後道成寺』では、四世中村雀右衛門の名舞台が知られる同作を、その心を大切にしながら自身の魅力を調和させ、新しい命を吹き込んだ。
	(関西参加公演の部) 該当なし	—	—
新人賞	(関東参加公演の部) 久保 統一	「ドラキュラ」公演における芸術監督としての成果	久保統一は米国コロラド・バレエ団で主要なダンサーとして活躍した後、平成24年にNBAバレエ団芸術監督に就任して新たなキャリアを歩み始めた。バレエ団の方向を定めてプログラムを組み、適材適所にダンサー、スタッフを配置して指導に当たっている。この「ドラキュラ」日本初演では、原作の怪奇的な雰囲気を生かした娯楽性と、演劇的な表現を重視した芸術性の双方を追求して、多くの観客にバレエの新たな魅力を示した。本公演を企画、指揮し、成功させた芸術監督としての成果に対して新人賞を送る。
	(関西参加公演の部) 川崎 麻衣	貞松・浜田バレエ団 特別公演「眠れる森の美女」におけるフロリナ王女の演技	古典バレエ「眠れる森の美女」の中で主役以外に唯一、グラン・パ・ド・ドウのある“フロリナ王女と青い鳥”のフロリナ王女を、バレエの基礎に裏打ちされた技術はもちろん、清潔感と品、独特の香りを持って踊った。繊細さを伴った踊りは、今後、古典バレエはもちろん、コンテンポラリー含め、ダンサーとしてますますの活躍が期待できるものだ。

平成26年度(第69回)文化庁芸術祭賞受賞一覧

大衆芸能部門5件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大賞	(関東参加公演の部) さんゆうてい ゆうば 三遊亭 遊馬	芸歴20周年特別記念☆さんゆうていゆうば 三遊亭遊馬独演 会の成果	極めて質の高い「蛙茶番」「佐野山」「紺屋高尾」を演じた。江戸の三娯楽(芝居・相撲・遊廓)を題材にした噺を集めるという企画性もさることながら、個々の噺の出来がすばらしかった。正統的なテキストを踏まえつつ、大小の新演出を加えたが、その新演出が単なるアイデアにとどまらず、語彙や間合いに至るまで磨き抜かれていた。おそらく繰り返し観客との間で磨いたのであろう。伝統芸としての古典落語の在り方に一つの模範解答を示した圧巻の独演会であった。
	(関西参加公演の部) キダ・タロー	音の語り部 キダ・タロー博覧の成果	歯に衣着せぬもの言いので人気のキダ・タロー。終戦直後の少年期にジャズの虜になった。軽音楽部からフルバンドのピアノでプロに。ホームソング、歌謡曲を書きCMの制作。パーソナリティー、コメンテーターと、時代に応じてきた自らを披瀝。「CMを即席で」と客席から募りプレゼント。84才の現役は音の語り部の面目躍如だった。
優秀賞	(関東参加公演の部) 有限会社スタス	えすけいでい・おうじい SKD・OGスタスレビューファンタジー2014 の成果	SKDレビューの継承を目指して精進してきた「スタス」の若手ダンサーの努力が明快に結実した公演であった。日舞をはじめラテン、タンゴ、クラシックバレエなど様々な分野のダンスを、十分に鍛え上げられた技術で表現した。結成以来22年、下町レビューの後継を託された若手たちのたゆまぬ鍛錬が自信と余裕をもたらし、好舞台を作り上げた。
	(関西参加公演の部) はやしや はなまる 林家 花丸	はやしやはなまる 林家花丸独演会 ～人と人、情と情の成 果	人の情をテーマにした二席を、ソフトな語り口で丁寧演技、サゲにも余韻を持たせる工夫を加え、観客を魅了した。女房の喜怒に揺れる心を見ごとに演じた「厩火事」。また、松竹新喜劇や講談・夫婦餅でも知られ、近年演じる落語家も多い「幸助餅」では、心を鬼にして本心を隠しつつ当たる関取・雷と、その仕打ちをバネに身を立て直す幸助の生き様を、情感たっぷりに描き、人情噺の佳品に仕立て上げた。
新人賞	(関東参加公演の部) しんきろう りゅうぎょく 蜷気楼 龍玉	おおししょうばなし なお 大師匠噺における「お直し」の話芸	大師匠の十八番に挑む「第二回大師匠噺」の会において、龍玉はトリで演じた「お直し」で、聴き応えのある話芸を披露した。決して明るくはない廓噺ではあるが、龍玉の古風でらいのない語り口が、廓における夫婦の微妙で複雑な心境を自然に描き出し、好感が持てた。今後の芸の伸びしろを感じさせ、一層の活躍が期待される。
	(関西参加公演の部) 該当なし	—	—

平成26年度(第69回)文化庁芸術祭賞受賞一覧

テレビ・ドラマ部門4件

区 分	受賞者(団体)名	受 賞 対 象	受賞理由
大 賞	株式会社テレビ朝日	テレビ朝日開局55周年記念 山田太一ドラマスペシャル「時は立ちどまらない」	子供同士の婚約で出会った2組の家族。その5日後に東日本大震災が襲う。婚約した長男と妻と母を亡くした漁師と、被害を免れた信用金庫支店長。一方的に施しを受ける漁師一家の苦しみは、施す側が気付きにくい視点だ。2組の家族の間に横たわる「建前」という被膜が丁寧に、時に手荒い手段で剥がされていき、「本音」の交流へと向かう。ホームドラマの第一人者が、震災をモチーフにしたフィクションをまた一つ深化させた。
優秀賞	中京テレビ放送株式会社	マザーズ	この作品の登場人物は全て自分の人生を前向きに生きていて、好感が持てる。「血縁にこだわらず、愛情を込めて育てれば子供は必ず幸せになる」という信念で作られた「特別養子縁組」の制度を応援し、予期せぬ妊娠に当惑する女性に希望を与える作品となっていた。特に、最後の実の母、育ての母との二つの芝居は秀逸であった。
	日本放送協会	土曜ドラマ「足尾から来た女」(前・後編)	足尾銅山鉱毒事件を扱った社会派ドラマとして完成度が高い。池端俊策のオリジナル脚本は秀逸。尾野真千子の演技も、圧倒的な存在感がある。田中正造や当時の左翼活動家だけでなく、主人公の女と石川啄木など明治の文学者とのエピソードも描かれ、単なる社会派の枠を打ち破っている。一人の女を通じて、明治という時代を描いた、スケールの大きな傑作ドラマである。
	株式会社BS-TBS	「おやじの背中」 一ウエディング・マッチー	才能に乏しい女子ボクシング選手の娘と、元ボクサーでトレーナーの父。二人は二人三脚でオリンピックを目指し、闘ってきた。娘は父の人生に巻き込まれ、父は娘の人生に巻き込まれて抜け出せない。そんな父娘の積年の愛憎を、濃密に、緊張感をもって描き出している。父を演じる役所広司と娘を演じる満島ひかりのセリフの応酬には、それぞれの思いがほとばしる。理屈では語れず、他人が立ち入れない親子のしがらみを浮かび上がらせていた。

平成26年度(第69回)文化庁芸術祭賞受賞一覧

テレビ・ドキュメンタリー部門4件

区 分	受賞者(団体)名	受 賞 対 象	受賞理由
大 賞	日本放送協会	君が僕の息子について教えてくれたこと	東田直樹さんは、自閉症でありながらキーボードや文字盤を使って自分の内面を表現することができる。同じく自閉症児を持つ家族は、東田さんの言葉から、理解できなかった自分の子どもの心を垣間見るようだという。番組は、東田さんからこぼれ出てくる言葉を丁寧に拾い集め、彼の持つ独特のそして美しい世界を伝える。
優 秀 賞	長崎放送株式会社	人間神様	長崎県雲仙市瑞穂町、伊福八幡神社。抽選で選ばれた6人の氏子が神無月に「人間神様」として神様の代役を務める屯宮祭。戸惑いながら準備を進める個性豊かな6人衆と家族、地域の人々の姿を躍動感のあるカメラワークで追う。酒と笑いと涙の中に収穫の喜び、伝統、地域の絆 <small>きずな</small> 、ぬくもりが伝わってくる。ナレーションもきらりと光る、人間賛歌の秀作である。
	日本放送協会	BS1スペシャル 女たちのシベリア抑留 前・後編	「シベリア抑留」を描いた作品は数多くあったが、これは、数百名におよぶ女性抑留者がいたことに焦点を絞った。当時15歳の少女から30歳のベテラン看護婦の過酷な経験談、その家族を丹念に取材した。体験者の多くが鬼籍に入る中、彼女たちのこれまでに語られることのなかった貴重な証言から、戦後69年の空白を超えて、改めて戦争の愚かな事実を突き付けられる。
	株式会社WOWOW	ノンフィクションW <small>だぶりゅー</small> 愚安亭遊佐 <small>ぐあんていゆうざ</small> ひとり芝居を生きる	愚安亭遊佐(本名・松橋勇蔵)は故郷である下北半島を舞台にしたひとり芝居を長く演じてきた。そのテーマは肉親をモデルにしたり原発の問題を訴えるなど、いずれも彼自身の生存に深く関わる世界である。今回は過去最多の応募数で個人の歩みをじっくりと見つめた力作が相次いたがこの作品に見る彼のエネルギーの発露と情熱は画面からはちきれんばかりであった。

平成26年度(第69回)文化庁芸術祭賞受賞一覧

ラジオ部門4件

区 分	受賞者(団体)名	受 賞 対 象	受賞理由
大 賞	(ドラマの部) 株式会社エフエム福岡	ラジオドラマ「鉄の河童 ^{かっぱ} 」	鉄の街、北九州と釜石をつないで描く、切なく心温まる物語。事故で右手の自由を失った鉄鋼マンが、東日本大震災で孤児となった釜石出身の少女と出会う。彼女が大切にしている父の形見＝鉄製の河童に、家族を作ってあげようとする鉄鋼マンの苦闘が胸を打つ。脚本・オリジナル音楽が良く、被災地の外から震災を描いた企画がすばらしい。
優 秀 賞	(ドラマの部) 株式会社山梨放送	山梨放送開局60周年記念ラジオドラマ 「婚活バスは、ふるさとへ」	人物たちの設定、関係性の妙、ドラマ内容やその運びに無理がなく全体のテンポ、リズムの良さなど終始飽きさせず楽しい佳品。また、ドラマ進行の中で挿入されるericaの歌も人物たちの気持ちを代弁でもするような効果があり、心地良さを感じる。そして何よりドラマの核となっている「普通」「特別」という生き方への拘りがいい。
	(ドキュメンタリーの部) 東海ラジオ放送株式会社	大須演芸場盛衰記～笑ってさよなら	2014年2月に閉館した名古屋市・大須演芸場の半世紀を振り返った。事実経過の記録にとどまらず、古今亭志ん朝の独演会など過去の音源を交えて軽妙に聞かせる。とりわけ俳優・天野鎮雄による演芸場の一人称での語りは、「日本一客の来ない寄席」と揶揄されながらも人々に愛された演芸場の雰囲気をよく伝えている。
	(ドキュメンタリーの部) 日本放送協会	「語り出す被爆遺品～69年目に明らかになる真実～」	広島平和記念資料館に勤める一人の女性学芸員の日常に焦点を当て、被爆した一台のピアノにどんな物語があったのかを掘り起こしたドキュメンタリー。戦争の記憶を語る人の多くが鬼籍に入りつつある今、丁寧な取材の積み重ねがいかに大切かを聞く者に訴える。そんな学芸員の姿に制作者の志を重ねて感じることができる作品となった。

平成26年度(第69回)文化庁芸術祭賞受賞一覧

レコード部門4件

区 分	受賞者(団体)名	受 賞 対 象	受賞理由
大 賞	公益財団法人日本伝統文化 振興財団	尺八の神髄- <small>みょうあんたいざんは</small> 明暗対山派全集-	明治4年太政官布告により、普化宗は廃絶。その後京都に明暗教会が設立され、樋口対山が尺八指南役となる。酒井松道は25歳で小泉了庵に入門して34曲伝授され、その後芳村普庵から5曲伝授された。酒井は両師に学んだものを次世代に伝えるために、虚無僧尺八の伝統に従って、地なしの一尺八寸管で録音し、助音を要す「鹿遠音」と「鶴巢籠」の他は、全てを一人で吹いていて、力強い仕上がりととなっている。
優 秀 賞	有限会社日本アコースティック レコーズ	<small>のむらほうざん</small> 野村峰山尺八独奏会 ～ <small>りゅうそ なかおとさん</small> 流祖中尾都山 作品より～	初代中尾都山作曲の都山流尺八本曲から8曲を選び、 <small>せいひつ</small> 静謐な竹の響きの中に、個々の作品の情景を鮮やかに描き出している。と同時に、楽譜や口伝に基づく入念な演奏解釈を行って、都山流本曲が理想とする音楽様式を真摯に追求している。CDの解説書には、野村の演奏解釈を書き込んだ「岩清水」の楽譜が掲載されており、音と文字の両方を発表媒体とするCDならではの成果に結実している点も高く評価された。
	有限会社日本アコースティック レコーズ	無伴奏ヴァイオリン・デュオ <small>うるしはらけいこ</small> 漆原啓子 & <small>うるしはらあさこ</small> 漆原朝子	漆原啓子と漆原朝子は、それぞれ1980年代から国内外で活躍しているが、この録音で姉妹の共演が実現した。ジャン＝マリー・ルクレール「二つのヴァイオリンのためのソナタ」(作品3－2)から武満徹「揺れる鏡の夜明け」まで、様々な時代と地域が生んだ作品を収めたアルバムである。無伴奏ヴァイオリン・デュオという特殊な編成だけに、一般の聴き手にとっては <small>なじ</small> 馴染みの薄い曲ばかりではあるが、初めて聴く曲でも、全く違和感を感じさせないのは姉妹の高い音楽性の証しといえよう。なおストラディヴァーリとガールネーリという楽器の聴き比べも興味深い。
	日本コロムビア株式会社	<small>しよてん</small> 所傳 <small>さんや せいらん</small> 三谷清攬 ～ <small>みつはしきふう</small> 三橋貴風 <small>みょうあん</small> 明暗/ <small>ねざさ</small> 根笹/ <small>きんこ</small> 琴古 尺八古典 本曲の世界～	円熟期を迎えた三橋貴風はこれまでに多くの賞を受賞しながらも、様々な尺八音楽の方向を探りつつ、世界各地で演奏活動を続けている。最近では演奏やCDで、かつて虚無僧たちが遺した日本各地の <small>のこ</small> 古典本曲に挑んでおり、今回のCDでは明暗流・根笹流・琴古流の長大な作品をバランスよく配置した技術力の高い演奏が高く評価される。